

多摩川を歩く-府中編-



歴史セミナ-多摩川を歩く-

多摩川沿川の散策を通して、多摩川の現状や流域の歴史文化などについて認識を深めていただくことを目的として、平成10年(1989)より実施しています。いろいろな地域にスポットを当て、多摩川周辺の歴史や文化財を学んでいます。これまでに19回が開催されました。

多摩川流域懇談会

「市民」「行政」「企業」「学識経験者等」から構成されています。各部会から代表者を選出した「運営委員会」において、《いい川》や《いいまち》の実現に向けて、ゆるやかな合意形成を図ることを目的としています。

【お願い】

1. 一般通行者や自転車に注意し、広がらないようにしてください。
2. 適度に休憩を取りながら散策しましょう。
3. 散策時間は目安です。実際とは異なる場合があります。

約4km / 1.5時間コース

-ルート-

府中駅(Start)

- ① 武蔵国府(国衙地区)
むさしこくふ こくがちく
- ② 宮乃咩神社
みやのめじんじゃ
- ③ 大國魂神社
おおくにたまじんじゃ
- ④ 武蔵国府跡(国司館地区)
むさしこくふあと こくしのたちちく
- ⑤ 三千人塚
さんぜんにんつか
- ⑥ 府中市郷土の森博物館
ふちゅうしきょうど もりはくぶつかん
- 府中本町駅(Goal)

① 武蔵国府跡(国衙地区)

国衙は国府の中でも政務の中心となった施設である国庁を含む地区です。朱色の柱は、発掘で見つかった当時の国衙の中核にあった建物の柱の位置を示しており、これらの建物が国府の中でも中核施設として市内で最大規模の建物です。「国衙」とは、国庁の周囲に設けられた国の行政事務を行っていた役所群をいいます。参考：府中市 HP



② 宮乃咩神社

宮乃咩神社は安産の神様として信仰が厚く、子供が生まれる前に絵馬を奉納し、無事出産すると、底を抜いた柄杓ひしやくを奉納するしきたりとなっています。参考：ぶらり国・府 HP



③ 大國魂神社

大國魂神社は、景行天皇 41 年(111)に創建されました。1900 年以上の歴史があり、東京五社（大國魂神社・靖国神社・明治神宮・東京大神宮・日枝神社）の中でも最も古い神社です。参考：府中市 HP



④ 武蔵国府跡(国司館地区)

今から約 1300 年前、国司館地区には、武蔵国府に赴任した国司が居住、執務する館が建てられていました。約 400 年前には、徳川家康がここに府中御殿を築きました。家康はここを奥州仕置の帰途の豊臣秀吉の饗応、秀忠との対面のほか、鷹狩りなどでたびたび訪れたとされています。参考：府中市 HP



⑤ 三千人塚

かつては分倍河原の合戦の死者三千人を埋葬した塚と言われましたが、鎌倉時代後期の墓地であることが分かっています。塚上の板碑は多摩地域最古の紀年銘を有する初期板碑の 1 つです。参考：府中市 HP



⑥ 府中市郷土の森博物館

郷土の森博物館は、約 14 万平方メートルの敷地全体で府中の自然、地形、風土の特徴を表現し、その中に昔の農家や町屋、歴史的な建物などを配置することで、野外を含めた「森」全体を博物館として、ふるさと府中の自然と歴史を楽しみながら知っていただける施設です。参考：府中市 HP

